科目名	特別講義１							年度	2026
英語科目名	Special Lecture 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	志鎌 克彦/髙野 清宗		教員の実務経験		有	実務経験の職種		クター/アーテ	

【科目の目的】

普段の授業内容では扱わない内容の講義を実施し、より幅広く音楽関連の知識を得ることを目的とする。また、課外活動にも積極的に参加し、他者とのコミュニケーション能力の強化や共同性を養う事も目的とする。

【科目の概要】

特別講師を招いた特別授業を開催し、アーティストとして必要な知識とコミュニケーション能力を中心に学ぶ。

【到達目標】

A. ヘルスケアについて理解できる
B. レコーディング講習に参加できる
C. アーティストセミナーに参加できる
D. 課外活動に参加できる
E. 楽器研究に参加できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
下記の授業テーマは過去に開催された特別講義の内容であり、年度により内容が異なる場合がある。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	ヘルスケアについて理解でき、要点を説明できる		ヘルスケアについて理解できる		ヘルスケアについて理解できない
到達目標 B	レコーディング講習に参加でき、自分の活動に活かすことができる		レコーディング講習に参加できる		レコーディング講習に参加できない
到達目標 C	アーティストセミナーに参加でき、自分の活動に活かすことができる		アーティストセミナーに参加できる		アーティストセミナーに参加できない
到達目標 D	課外活動に参加でき、自分の課題を発見できる		課外活動に参加できる		課外活動に参加できない
到達目標 E	楽器研究に参加でき、どのようなものか説明できる		楽器研究に参加できる		楽器研究に参加できない

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポート　80%　提出されたレポートの内容により評価
平常点　　20%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	特別講義１	年度	2026
英語表記	Special Lecture 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ヘルスケア①	睡眠の質を改善する	1	睡眠不足の影響	睡眠不足の影響について理解できる		
			2	データ分析	睡眠時間のデータ分析ができる		
			3	質の良い睡眠	質の良い睡眠について理解できる		
2	ヘルスケア②	正しい食生活習慣を学ぶ	1	食生活の見直し	食生活の見直しができる		
			2	栄養バランス	栄養バランスについて理解できる		
			3	食事時間・回数	正しい食事時間・回数について理解できる		
3	ヘルスケア③	アーティストとして必要な体力作りを学ぶ	1	体力と免疫	体力と免疫の関係について理解できる		
			2	体力測定	体力測定で自分の体力を把握できる		
			3	トレーニング	トレーニング方法を理解する		
4	レコーディング講習①	レコーディングの基本的な知識を学ぶ	1	システム	レコーディングシステムを理解できる		
			2	Recの流れ	Recの流れを理解できる		
			3	エンジニア	エンジニアの役割を理解できる		
5	レコーディング講習②	レコーディングの基本的な機材を学ぶ	1	モニター	モニターについて理解できる		
			2	マイク	マイクについて理解できる		
			3	ケーブル	ケーブルについて理解できる		
6	レコーディング講習③	レコーディングソフトの基本的な操作を学ぶ	1	ProToolsの操作	ProToolsの操作について理解できる		
			2	ショートカット	ショートカットについて理解できる		
			3	保存	保存方法について理解できる		
7	アーティストセミナー①	アーティストの話を聴く(ボーカル)	1	ゲスト紹介	ゲストの経歴について理解できる		
			2	活動内容	活動内容について理解できる		
			3	実演	ゲストの優れている点を発見できる		
8	アーティストセミナー②	アーティストの話を聴く(プレイヤー)	1	ゲスト紹介	ゲストの経歴について理解できる		
			2	活動内容	活動内容について理解できる		
			3	実演	ゲストの優れている点を発見できる		
9	アーティストセミナー③	アーティストの話を聴く(クリエイター)	1	ゲスト紹介	ゲストの経歴について理解できる		
			2	活動内容	活動内容について理解できる		
			3	実演	ゲストの優れている点を発見できる		
10	課外授業①	TVの収録に参加する	1	リハーサル	リハーサルをスムーズに進行できる		
			2	本番	本番をスムーズに進行できる		
			3	振り返り	自分の反省点を自覚できる		
			1	リハーサル	リハーサルをスムーズに進行できる		

11	課外授業②	アーティストの作品に参加する	2	本番	本番をスムーズに進行できる		
			3	振り返り	自分の反省点を自覚できる		
12	楽器研究①	弦楽器	1	弦楽器の歴史	弦楽器の歴史について理解できる		
			2	弦楽器の種類	弦楽器の種類について理解できる		
			3	弦楽器の音	弦楽器の音について理解できる		
13	楽器研究②	管楽器	1	管楽器の歴史	管楽器の歴史について理解できる		
			2	管楽器の種類	管楽器の種類について理解できる		
			3	管楽器の音	管楽器の音について理解できる		
14	楽器研究③	パーカッション	1	各国の楽器	各国の楽器について理解できる		
			2	演奏技法	演奏技法について理解できる		
			3	ワークショップ	基本的な演奏をすることができる		
15	楽器研究④	鍵盤楽器	1	グランドピアノ	グランドピアノについて理解できる		
			2	シンセサイザー	シンセサイザーについて理解できる		
			3	オルガン	オルガンについて理解できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等